



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 上村工業株式会社

コード番号 4966 URL <http://www.uvemura.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上村寛也

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 片山恵嗣

TEL 06-6202-8518

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	36,008	6.2	4,755	△3.3	4,730	△10.7	3,144	8.2
27年3月期第3四半期	33,899	8.6	4,919	10.1	5,298	9.8	2,907	91.0

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 1,960百万円 (△50.4%) 27年3月期第3四半期 3,951百万円 (0.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第3四半期	345.44	—
27年3月期第3四半期	319.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第3四半期	67,357	49,453	72.8	5,388.52
27年3月期	69,679	49,392	69.3	5,306.44

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 49,056百万円 27年3月期 48,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	54,640	18.1	7,840	21.4	8,020	15.5	4,980	31.4	547.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	9,878,040 株	27年3月期	9,878,040 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	774,194 株	27年3月期	774,191 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	9,103,846 株	27年3月期3Q	9,103,932 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策により、企業収益や雇用情勢が改善し、緩やかな回復基調で推移しましたが、中国の景気減速や原油価格の下落に伴う世界経済の下振れ懸念により、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループの主要市場である、エレクトロニクス市場におきましては、スマートフォンが引き続き市場を牽引しましたが、スマートフォンの普及の一巡に伴い、その成長はやや鈍化しました。

このような状況の下、当社グループは、収益力の更なる向上を目指して、徹底したコスト削減、高付加価値製品の開発と提案並びに拡販活動に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は360億8百万円（前年同四半期比6.2%増）、営業利益は47億55百万円（同3.3%減）、経常利益は47億30百万円（同10.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億44百万円（同8.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 表面処理用資材事業

主力のプリント基板用及びパッケージ基板用めっき薬品の売上高は、パソコン向けは低調でしたが、スマートフォン向けが引き続き堅調に推移し、ウェアラブル端末向けの新たな需要もあったことから、前年同四半期を上回りました。一方、ニッケルや銅などの市場価格が下落したことや、中国をはじめとする新興国の景気低迷の影響を受け、非鉄金属、工業薬品など商品の売上高は、前年同四半期と比べ減少しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は272億49百万円（前年同四半期比1.8%減）、セグメント利益は51億15百万円（同2.7%増）となりました。

## ② 表面処理用機械事業

国内外の電子部品メーカーによる設備投資への前向きな動きにより、機械の受注環境が回復し、売上高は増加しましたが、利益面では次世代製品に対応する先行投資的な機械製作において、一部検収遅延による追加費用を計上したため、前年同四半期を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は48億36百万円（前年同四半期比52.1%増）、セグメント損失は4億89百万円（前年同四半期はセグメント損失2億68百万円）となりました。

## ③ めっき加工事業

主力のタイの連結子会社では、自動車部品向けに新しい素材であるポリカーボネートABS樹脂へのめっき加工を開始しましたが、生産能力の向上に伴う初期費用が発生しました。また、インドネシアの連結子会社では、インドネシア国内の自動車生産が低迷している影響を受け、当初予定していた生産数量を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は35億77百万円（前年同四半期比22.4%増）、セグメント損失は1億75百万円（前年同四半期はセグメント損失29百万円）となりました。

## ④ 不動産賃貸事業

オフィスビルの入居率が改善したことや、経費の節減にも努めたことから、前年同四半期と比べて売上高、セグメント利益はそれぞれ増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5億38百万円（前年同四半期比1.4%増）、セグメント利益は3億円（同6.3%増）となりました。

なお、上記のセグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ23億21百万円減少し、673億57百万円となりました。主な増加は、建設仮勘定の増加4億41百万円、投資有価証券の増加1億62百万円であり、主な減少は、建物及び構築物（純額）の減少7億51百万円、受取手形及び売掛金の減少4億70百万円、機械装置及び運搬具（純額）の減少3億20百万円、商品及び製品の減少2億86百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ23億82百万円減少し、179億4百万円となりました。主な増加は、繰延税金負債の増加1億86百万円であり、主な減少は、支払手形及び買掛金の減少10億21百万円、未払法人税等の減少6億57百万円、長期借入金の減少2億94百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ61百万円増加し、494億53百万円となりました。主な増加は、利益剰余金の増加22億34百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億6百万円であり、主な減少は、為替換算調整勘定の減少13億2百万円、非支配株主持分の減少6億86百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の69.3%から3.5%増加し72.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月15日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）第39項に掲げられた定め等を適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,660,261	26,429,205
受取手形及び売掛金	12,795,700	12,325,391
有価証券	40,728	39,788
商品及び製品	2,217,019	1,930,204
仕掛品	1,567,892	1,305,969
原材料及び貯蔵品	1,601,812	1,326,569
繰延税金資産	648,810	751,994
その他	2,778,319	2,426,250
貸倒引当金	△53,181	△53,986
流動資産合計	48,257,362	46,481,387
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,448,929	20,116,982
減価償却累計額	△9,971,717	△10,391,043
建物及び構築物(純額)	10,477,211	9,725,938
機械装置及び運搬具	9,122,082	8,999,198
減価償却累計額	△6,570,326	△6,768,270
機械装置及び運搬具(純額)	2,551,756	2,230,928
土地	3,751,386	3,605,218
リース資産	216,538	235,939
減価償却累計額	△130,535	△106,435
リース資産(純額)	86,002	129,503
建設仮勘定	488,671	930,021
その他	3,840,866	4,000,743
減価償却累計額	△2,866,697	△3,039,380
その他(純額)	974,169	961,363
有形固定資産合計	18,329,199	17,582,973
無形固定資産	394,764	425,617
投資その他の資産		
投資有価証券	1,575,920	1,738,590
退職給付に係る資産	104,310	109,125
繰延税金資産	77,710	85,137
その他	967,542	962,872
貸倒引当金	△27,796	△27,796
投資その他の資産合計	2,697,687	2,867,930
固定資産合計	21,421,651	20,876,521
資産合計	69,679,013	67,357,908

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,461,631	1,440,535
電子記録債務	3,630,403	3,336,394
短期借入金	954,422	850,187
1年内返済予定の長期借入金	392,838	412,221
リース債務	48,989	52,766
未払法人税等	2,215,422	1,557,426
賞与引当金	146,384	50,311
役員賞与引当金	119,600	89,700
その他	4,414,390	4,244,520
流動負債合計	14,384,082	12,034,063
固定負債		
長期借入金	846,782	552,629
リース債務	92,273	125,390
繰延税金負債	3,714,496	3,900,667
役員退職慰労引当金	166,387	162,070
退職給付に係る負債	419,559	475,553
長期預り保証金	578,463	566,957
その他	84,718	87,240
固定負債合計	5,902,679	5,870,510
負債合計	20,286,762	17,904,573
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,336,936	1,336,936
資本剰余金	1,613,659	1,321,581
利益剰余金	42,462,559	44,697,028
自己株式	△2,826,784	△2,826,802
株主資本合計	42,586,371	44,528,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	695,369	801,914
為替換算調整勘定	5,027,244	3,724,968
退職給付に係る調整累計額	71	622
その他の包括利益累計額合計	5,722,686	4,527,505
非支配株主持分	1,083,194	397,086
純資産合計	49,392,251	49,453,335
負債純資産合計	69,679,013	67,357,908

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	33,899,173	36,008,264
売上原価	22,232,490	23,787,347
売上総利益	11,666,683	12,220,916
販売費及び一般管理費	6,747,099	7,465,652
営業利益	4,919,583	4,755,264
営業外収益		
受取利息	106,337	117,609
受取配当金	28,626	30,946
為替差益	189,143	—
有価物回収益	31,897	30,427
その他	73,300	110,238
営業外収益合計	429,305	289,221
営業外費用		
支払利息	31,734	27,412
為替差損	—	259,133
支払手数料	10,307	11,565
その他	8,474	16,189
営業外費用合計	50,516	314,300
経常利益	5,298,372	4,730,185
特別利益		
固定資産売却益	16,467	45,844
受取補償金	—	153,876
特別利益合計	16,467	199,720
特別損失		
固定資産除売却損	8,156	4,058
特別損失合計	8,156	4,058
税金等調整前四半期純利益	5,306,684	4,925,848
法人税、住民税及び事業税	1,944,238	1,722,239
法人税等調整額	372,375	20,798
法人税等合計	2,316,613	1,743,038
四半期純利益	2,990,070	3,182,810
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,907,709	3,144,853
非支配株主に帰属する四半期純利益	82,360	37,956
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	148,205	106,544
為替換算調整勘定	807,420	△1,329,457
退職給付に係る調整額	5,827	550
その他の包括利益合計	961,453	△1,222,362
四半期包括利益	3,951,523	1,960,447
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,841,584	1,949,672
非支配株主に係る四半期包括利益	109,939	10,775



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年8月27日付けで、連結子会社Sum Hitech Co., Ltd.の株式を追加取得致しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が291,841千円減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	表面処理用 資材事業	表面処理用 機械事業	めっき加工 事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	27,599,438	2,842,601	2,920,697	531,177	33,893,914	5,258	33,899,173	—	33,899,173
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	144,821	337,915	1,183	—	483,921	—	483,921	△483,921	—
計	27,744,259	3,180,517	2,921,881	531,177	34,377,836	5,258	34,383,095	△483,921	33,899,173
セグメント利益又は 損失(△)	4,981,347	△268,553	△29,302	282,475	4,965,967	4,385	4,970,352	△50,769	4,919,583

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロイヤルティ収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	表面処理用 資材事業	表面処理用 機械事業	めっき加工 事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	27,074,646	4,814,331	3,576,049	538,555	36,003,582	4,681	36,008,264	—	36,008,264
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	174,817	22,250	1,577	—	198,645	—	198,645	△198,645	—
計	27,249,463	4,836,581	3,577,626	538,555	36,202,227	4,681	36,206,909	△198,645	36,008,264
セグメント利益又は 損失(△)	5,115,538	△489,122	△175,108	300,195	4,751,503	3,760	4,755,264	—	4,755,264

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロイヤルティ収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。